

2016年日本のワイ ン市場アンケート

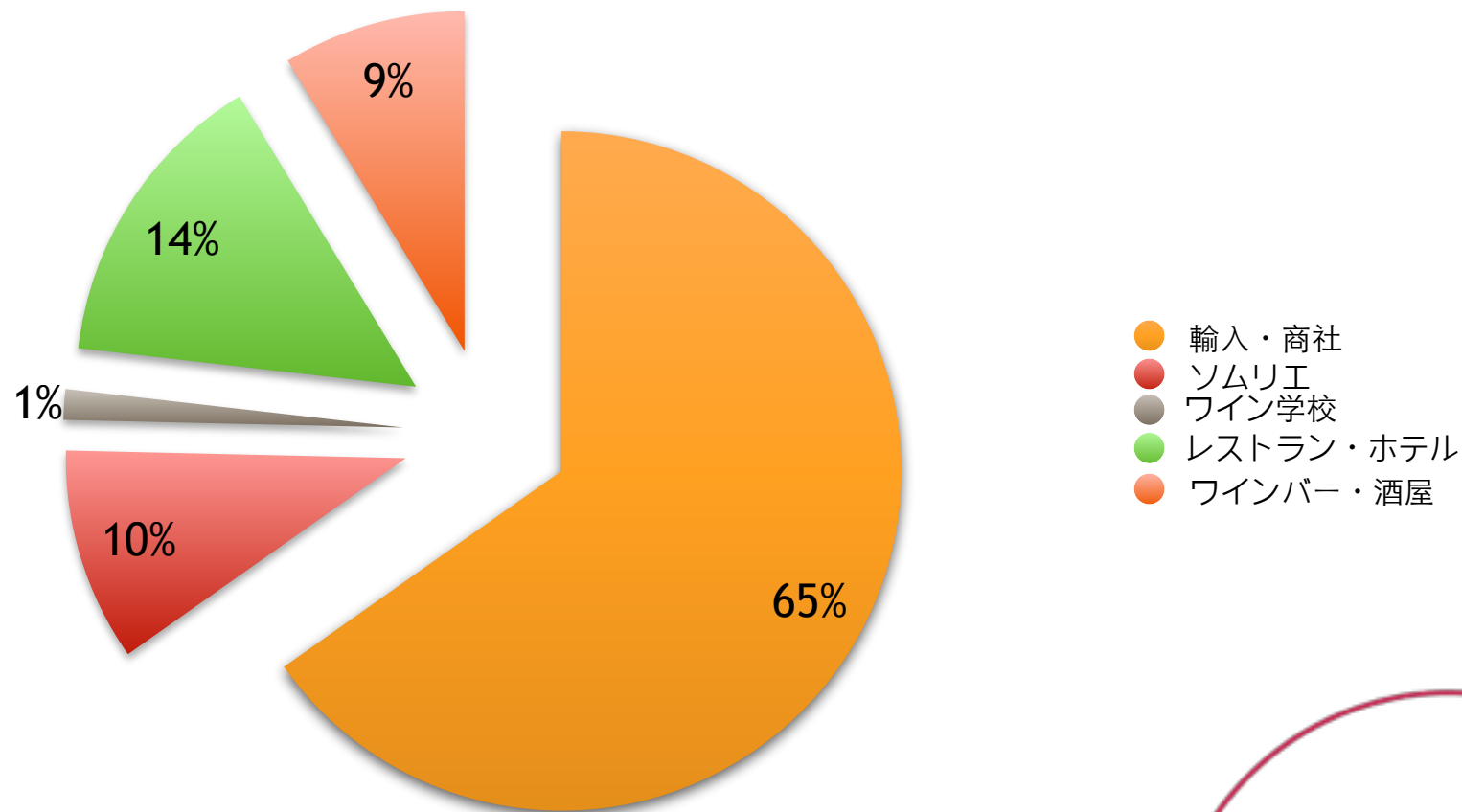
在日イタリア商工会議所

2016年1月

アンケートの目的

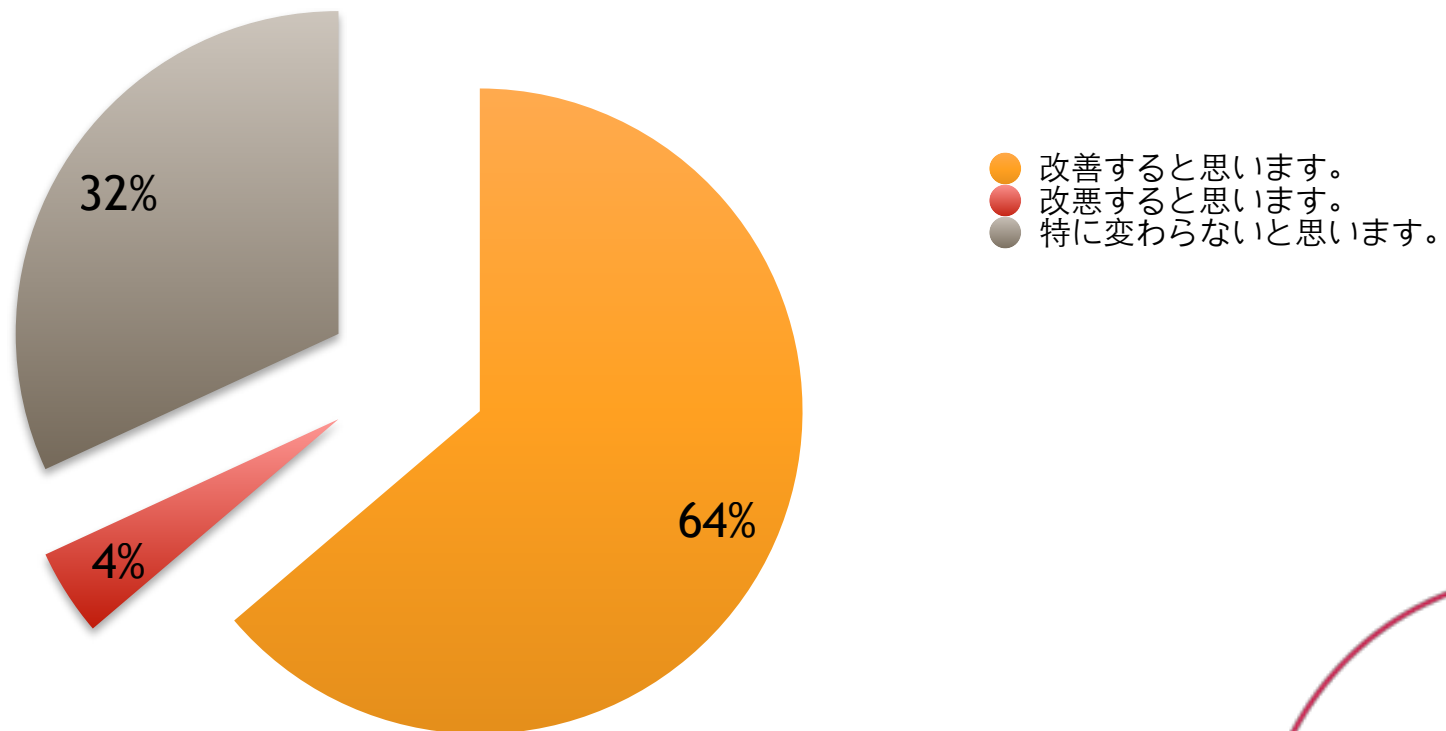
- どのようなワインの種類かが輸入者、配給業者、ワイン業界の関係者の興味を引くのを調べること。
- 日本の輸入者にとっての日本でのイタリアワインのマーケットの将来の進化を調べること。
- ICCJに備えたワインイベント、事業視察団、B2Bサービスの効果を試すこと。

調査票回収社：職種・業界



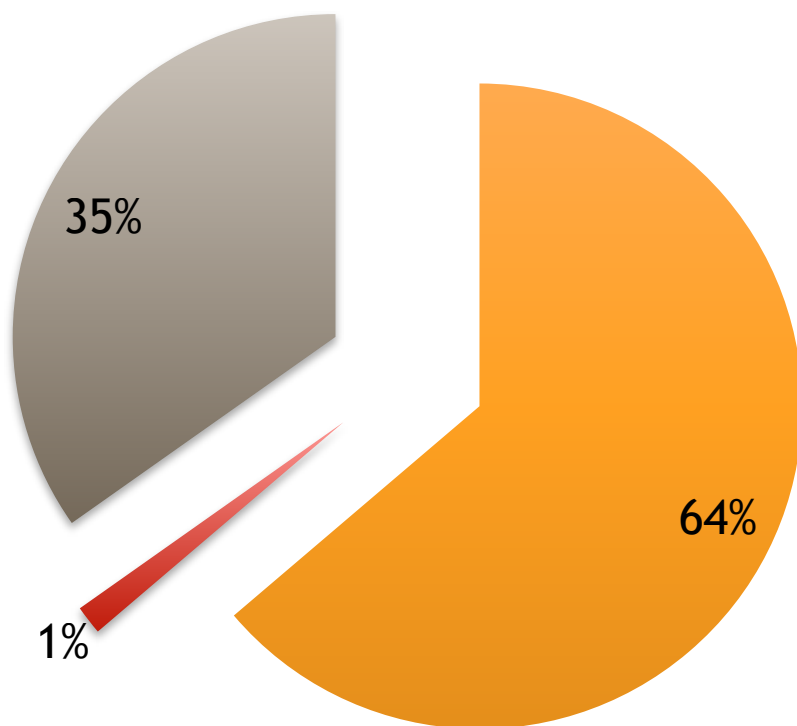
国内ワイン市場の見通し

- 2016年の貴社の国内ワイン市場の見通しを教えてください。



2016年の拡大プロジェクト

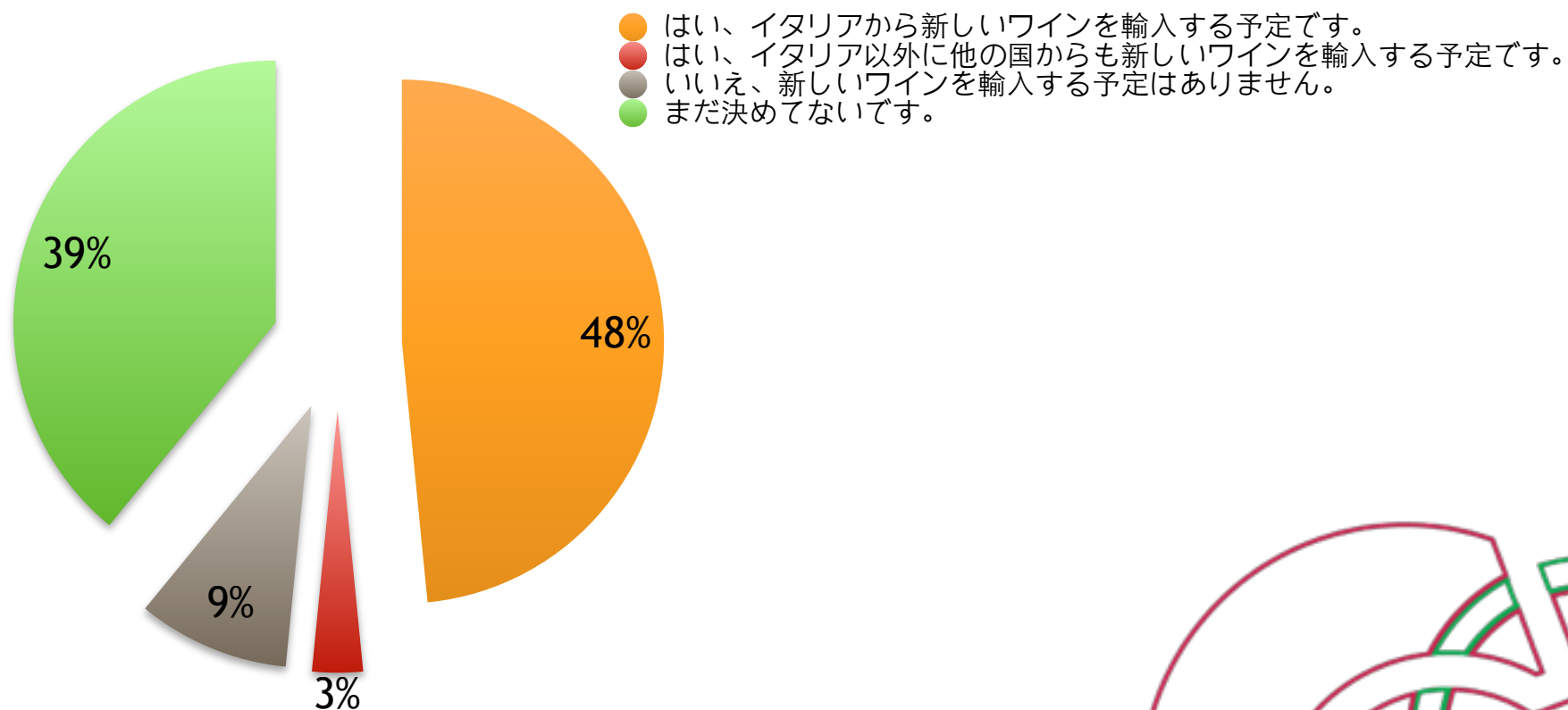
- 2016年に向けて、ビジネスを拡大又は削減する予定はありますか？



- ビジネスを拡大する予定です。
- ビジネスを削減する予定です。
- まだ決めてないです。

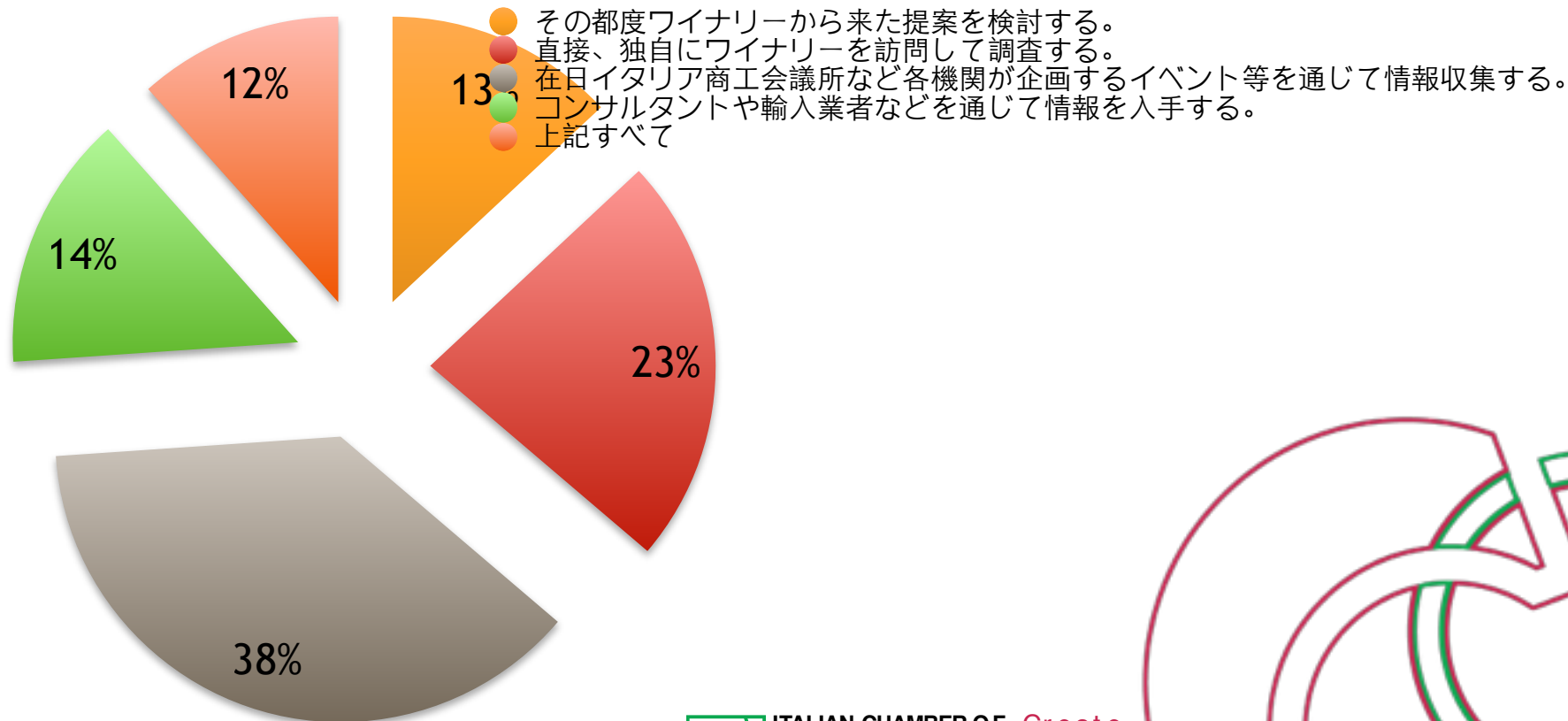
2016年：イタリアのワイン人気 上昇

今年新しいワインを輸入する
予定はありますか？



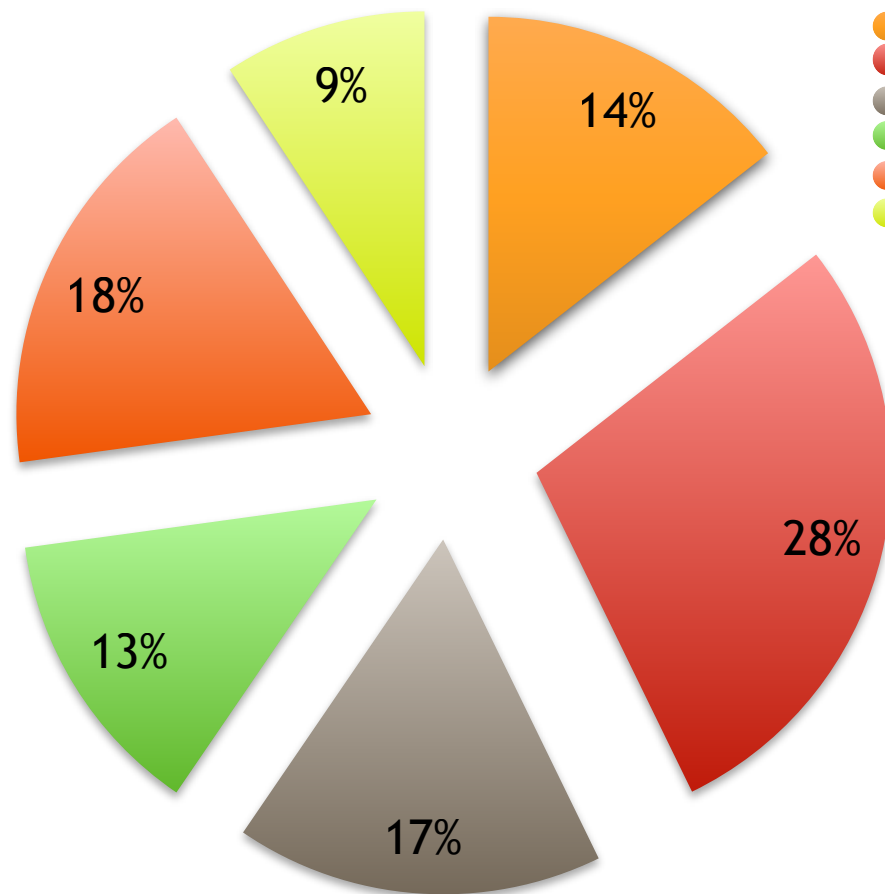
ICCJイベントで情報収集

新しいワインを輸入する際、ワイナリー又はワインに関する情報はどこから集めていますか？



地域固有のぶどう品種：注目度が上昇中

ご興味のあるイタリアワインの種類・産地を教えてください。



- 卸価格2ユーロ以下のワイン
- 地域固有のぶどう品種で作られたワイン
- 受賞ワイン、ワインガイドブックに表示されたワイン
- スパークリング・ワイン
- 珍しいぶどう品種で作られたワイン
- 珍しいぶどう品種で作られたワイン

イタリアと取引する際にトラブル 又は困難はありましたか？

- EU内で取引はしていても、対アジアなど国際的貿易の手続き書類を作成できない会社があった。
- 時々レスポンスが遅い。
- イタリアに限らず、商品を輸入する際には、発注ロット、及び日本語ラベル対策が一番困難。また、西洋特有の文化として、連休が長いことがビジネス上辛いことがある。

The Italian Chamber of Commerce in Japan

Tokyo: FBR Mita Bldg. 9F, Mita 4-1-27
Minato-ku, 108-0073 Tokyo
Tel: 03-6809-5802 Fax:
03-6809-5803

Milan: viale A. Doria, 7 - 20124 Milano